

## 箴言 2 主を覚えてあなたの道を歩け 3:6

2017/09/27 聖書研究会

### 1. 【前回の中心的メッセージ】

「1:7 主を畏れることは知恵の初め。無知な者は知恵をも諭しをも侮る。」

### 2. 「1:20 知恵は巷に呼びわり／広場に声をあげる。

1:21 雑踏の街角で呼びかけ／城門の脇の通路で語りかける。

1:23 立ち帰って、わたしの懲らしめを受け入れるなら／見よ、わたしの霊をあなたたちに注ぎ／わたしの言葉を示そう。」

・「知恵」が主体（主語）となって呼びかけ働く。人格的なもの（4:6では「彼女」）。

このような表現、思想は「知恵の書」にもある。

「6:16 知恵は自分にふさわしい人を求めて巡り歩き、道でその人たちに優しく姿を現し、深い思いやりの心で彼らと出会う。」

・「わたしの霊」と「わたしの言葉」が並列されているのが印象的。

「言葉」だけでは「頭」の理解に偏って命を失いやすく、「霊」のみでは危うい。神の言葉は神の霊と共に働いてわたしたちを救い導く。

### 3. 「3:5 心を尽くして主に信頼し、自分の分別には頼らず

3:6 常に主を覚えてあなたの道を歩け。そうすれば／主はあなたの道筋をまっすぐにしてくださる。

3:7 自分自身を知恵ある者と見るな。主を畏れ、悪を避けよ。」

### 4. 知恵を求める祈り ソロモン 列王記上

「3:8 『僕はあなたのお選びになった民の中にいますが、その民は多く、数えることも調べることもできないほどです。3:9 どうか、あなたの民を正しく裁き、善と悪を判断することができるように、この僕に聞き分ける心をお与えください。そうでなければ、この数多いあなたの民を裁くことが、誰にできましょう。』 3:10 主はソロモンのこの願いをお喜びになった。」